

教科	理科	単元名	ヒトや動物の体
----	----	-----	---------

本時のねらい

・ヒトや動物の体のつくりやはたらきについて学んだことをまとめ、表現する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・これまで学習したことをタブレット上に自分にあった方法で辞典としてまとめる活動を通して、より主体的で探究的な学びをめざす。
- ・学習形態・学習方法を主体的に選び、課題解決する力
- ・タブレット端末を効果的に活用して、自分の考えや根拠を示しながら相手にわかりやすく説明する力

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・大型提示装置
- ・タブレット
- ・カメラ機能（静止画、動画）
- ・Googleドキュメント
- ・Googleスライド

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認する めあて「ヒトや動物の体大辞典を作ろう」 ・既習事項から、さらに学びたい項目を選ぶ ・どんな辞典がよい辞典なのか、ループリックを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブ上の学習記録から、項目を出し合う。 ・ループリック（みんなで考えた到達目標）は配付せずに、入力させることで内容の自覚を促す。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ項目（消化・呼吸・血液・臓器）ごとに分かれて、大辞典を作る計画を立てる ・大辞典を作るために必要な情報を収集する 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目に分かれる際に、一人で学習するのか、複数人で学習するのか学習形態を子どもに決めさせる。調べたい情報を共有しながら、学習計画を立てる。 ・教科書、人体模型、インターネット、学校図書、インタビューなど、さらに知りたいことの情報収集の方法は子どもたちが選ぶ。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗確認（形式、役割分担） ・学習記録を書く（ふり返り） 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の進捗確認と評価を行うために担任がデータを共有する。 ・ドライブの学習記録に次の時間にしたいことを記録する。

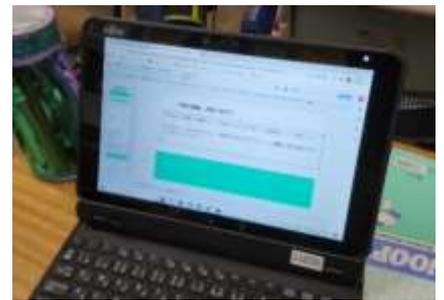
1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 本時のめあてを確認する



【写真2】 計画を立て、情報収集する



【写真3】 ふり返りとして学習記録を書く

児童生徒の反応や変容

タブレット端末を活用して情報を集めたり、表現したりする活動を通じて、学習形態を選ぶことができるようになった。子どもたちは、学習形態を選ぶことで一人では自信をもてない児童も友だちと対話を重ねる中で自分の考えを深めることができ、より前向きに学習に向かう姿が見られた。また、自分たちで学習方法を選ぶことで学習のゴールの見通しを子どもたち一人ひとりが見つことができ、より主体的に学習する態度が見られた。ICT機器を活用した学習が増えたことで、課題を解決していく中で「自分の学びにあった方法は何か」について考える良い機会となった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

学習のゴールとして、辞典を作ることを単元が始まる前に示すことで、知識を習得する段階でも興味をもって取り組むことができていた。児童が自己調整を図りながら、学べるように方法（教科書、模型、インターネット、学校図書、インタビューなど）と形態（個人、複数人）を選択させた。学習で出てきた理科の道具を自由に使うことができるよう環境整備したことで、まとめの表現の幅が広がった。単元計画を作成する際に学びに必然性をもたせたことで、児童の主体的な学びを引き出すことができたと感じている。